

令和6年 労働災害発生状況（令和6年11月末現在）

（休業4日以上の死傷者数）

筑西労働基準監督署

業種別

業種	年	6年		5年		同期比	
		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品		22		31		-9
	木材・木製品		1		3		-2
	化学工業		16		11		5
	金属製品		19		20		-1
	一般・電気・輸送用機械		15		7		8
	その他		24		20		4
	小計		97		92		5
建設業	土木工事				7		-7
	建築工事（木造除く）		13		12		1
	木造建築工事				3		-3
	その他の工事		3		4		-1
	小計		16		26		-10
陸上貨物運送事業		33		30		3	
畜産業		5		5			
小売業		27		24		3	
社会福祉施設		20		14		6	
その他		55	1	68	-1	-13	
計		253	1	259	-1	-6	

転倒に注意！

慌ただしい年末年始は、転倒などにつながる不安な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確保しましょう。

チェックしてみよう！例えば…

- 道路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉塵はその都度取り除いているか
- 安全に移動できるように、十分な明るさ（照明）が確保されているか
- 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 段差のある場所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー（標識）を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 歩きスマホなど足元から注意がそれる行動をしていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。

出発前の準備

- ・目的地方面の交通情報や降雪など気象情報を収集。
- ・タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。冬タイヤでも走行困難になることがあるため、タイヤチェーンは必ず換行する。

「急」のつく運転を避ける

- ・急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピンやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持って！

凍結しやすい場所に注意

- ・橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落として徐行運転する。

車間距離を十分に確保する



冬場における転倒防止対策を確認しましょう（職場のあんぜんサイト内）

月別

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
6年	18	27	26	24	26	28	28	37	16	17	6		253

年齢別

年齢	件数	率(%)
～19歳	4	1.6%
20～29歳	35	13.8%
30～39歳	19	7.5%
40～49歳	44	17.4%
50～59歳	69	27.3%
60歳～	82	32.4%

規模別

事故の型別

業種	業種	規模		一〇〇人	一〇〇人	転落・墜落	転倒	激突され	巻込まれ・挟まれ	こすれ・すれ	交通事故	動作の反動	その他	合計	
		九人	四九〇人												
製造業	食料品	1	13	3	5	1	8	1	5		1	3	3	22	
	木材・木製品	1							1					1	
	化学工業	1	1	5	9			4		6	1		2	3	16
	金属製品	1	16		2	3				2	1		3	5	19
	一般・電気・輸送用機械		4	3	8	1		2	1	4	2		4	1	15
	その他	6	9	4	5	1		6	1	6			5	5	24
	小計	10	43	15	29	6	20	5	27	4	1	17	17	97	
建設業	土木工事														
	建築工事（木造除く）	9	4				5		1		1			3	13
	木造建築工事														
	その他の工事	2	1				2							1	3
	小計	11	5			7	1	2		1	1		4	16	
陸上貨物運送事業	6	20	3	4		12	3	3	4		4	2	5	33	
畜産業		1	4						2			2	1	5	
小売業	3	12	6	6	2		8	3			7	5	2	27	
社会福祉施設	6	8	4	2	1		6	1	1		2	7	2	20	
その他	21	20	7	7	3		17	2	9	5	5	6	8	55	
計	57	109	39	48	31	55	16	43	10	20	39	39	253		

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、()内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く